

2021年度 佐久長聖高等学校 学校関係者評価

評価・・・A:十分 B:概ね十分 C:やや不十分 D:不十分

	評価項目	評価の観点	評価	今後の課題・問題点
1	学習指導	大学入試改革に対応した具体的な取り組みができたか。	B	共通テストの数学が難しかったこともあり、数学の対応をしっかりとしてほしい。／定期考査と模試成績に差が出ないように、力の付く定期考査となる研究をすべき。
		アクティブラーニング(AL)・ICT機器活用等の授業改善をしたか。	C	生徒間で格差があり、一部の生徒が教師が要求するレベルの課題を提出できない。／ICTを使わないからこそ身につく力もあるので、使い分けが必要。
		中高一貫教育の特性を生かした指導や教育課程の見直しを行ったか。	C	一貫生がⅠⅡ類生と交わって刺激を受ける場面をもっとつくってほしい。／中学と高校の距離感があるように感じる。もっと交流をすべき。
2	進路指導	計画的・戦略的に組織的な進路指導ができたか。	B	1・2年次の進路指導が、3年次の進路選択や学習意欲・学力向上にどう反映されたのか検証が必要。／学年や担任によるカラーの違い、取り組みの違いが生徒に悪影響とならないように気を付けなければいけない。
		保護者と連携した個に応じた進路指導ができたか。	B	コロナ禍の中で学校に足を運ぶ機会が少ないなかオンラインなどを利用して情報のやり取りができていますが、さらに工夫をしてもよい。
		生徒の自己啓発につながるキャリア教育であったか。	C	コロナもあり昨年まであった一流の方の話を聞く機会がなかったが、生徒にとってはすごく良い刺激になるのでそういう場をつくってほしい。／インターンシップなどの実施においては学校だけでなく、もっと地元の企業・人を頼ってもよい。
3	生徒指導	いじめや暴力のない安全な学校生活を送るための啓発活動ができたか。	B	生徒が相談できる環境や雰囲気さをさらに作る必要がある。／SNS上の誹謗中傷は発見しにくいので教員の研修が必要。
		体罰や暴言のない安心な学校づくりができたか。	B	何が生徒の心に響くか、何が傷つくかの研究を深めていってほしい。／強い言葉が「暴言」ではなく「激励」と受けとってもらえるような信頼関係を築いておくことが大切。／生徒の成長するには負荷をかけることも教育上必要だと思うが、日常的な教室では、それがたいへんやりにくくなってきている。
		校内外での安全・トラブル(SNS含む)に注意できているか。	B	自動車を運転中に生徒が急に飛び出してきたことがあったので注意喚起をしてほしい。／引き続きアンテナを高くして生徒とコミュニケーションをとってほしい。
4	保護者連携 地域連携	ホームページ・Classiなどで積極的に学校情報の発信ができたか。	B	私立ならではの特徴をさらに打ち出していい。／学校の色々な実績など知らない人が多くいるのでまだまだ発信の余地がある。／クラス間や学年間による差ができるだけないようにしてほしい。
		保護者や外部からの声に対してきちんと対応・返答できたか。	B	寮に生徒を預けている親に向けてもっと個人的な情報を発信してもらいたい。／今後も保護者や外部からの声に対して迅速・誠実に対応してほしい。
		説明会・オープンスクール(OS)・学校訪問など積極的な広報活動ができたか。	B	コロナ禍だからこそ中学校訪問の回数を今まで以上に増やしていくべき。／学校のオリジナルグッズをもっといろいろ用意してもよいのでは。／長野県内の中学校に、積極的に出前授業をしたらどうか。